

Title	小特集 経済学と函数解析：編者序
Sub Title	
Author	丸山, 徹
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1980
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.73, No.1 (1980. 2) ,p.31-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	小特集 経済学と函数解析
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19800201-0031

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

小特集 経済学と函数解析

編者序

函数解析学とは、ある一定の性質を有する函数空間の位相的・代数的構造を研究する、解析学の一分科である。もう少し詳しく言えば、抽象的あるいは具体的な線形位相空間の構造と、その上で働く作用素が主たる研究の対象である。

今回の小特集は、経済現象の数学的分析と函数解析学との深い交渉の一端を紹介する目的で企画されたものである。

高橋渉氏（非線形函数解析学専攻）の論文は、非線形函数解析の諸問題において重要な役割を果たす各種の不動点定理に関する総合報告である。非線形エルゴード定理、極大単調作用素の理論、変分不等式、ゲームの理論など、広汎な話題が不動点定理の視角から論じられている。

渡部隆一氏（凸解析専攻）は、本誌上にも既に発表された Krein 空間に関する基礎研究をふまえて、正值作用素の概念を多価写像の場合に拡張している。正值作用素の固有値に関する Frobenius-Perron の定理が中心的主題である。

川又邦雄氏（理論経済学専攻）は Kaldor 型の景気変動を記述する微分方程式の周期解の存在を厳密に証明している。

最後に丸山徹（Radon 測度・超函数論専攻）の論文は、可測多価写像とその積分をめぐる総合報告であり、経済学にあらわれる二、三の変分問題への応用に、とくに注意が払われている。

今回の企画が、数学・経済学双方の発展に、いささかなりとも良い刺激剤となりうるならば、編者の望外の喜びである。

丸 山 徹